

# AI vs. 教科書が読めない子どもたち

国立情報学研究所教授 新井紀子

- \*私が東ロボプロジェクトを始めた理由
- \*IBMのワトソンはそんなに凄いのか
- \*AIは自力で小説は書けない
- \*AIが解ける問題、解けない問題
- \*高等教育がハイリस्कハイリターンに
- \*AIの目について考える
- \*東ロボ君で大学入試に挑戦する
- \*危機意識が生んだリーディングスキルテスト
- \*驚かされた著しい読解力の低下
- \*いい人間になる前にいい猿になれ



**柴生田** それでは開会いたします。（拍手）  
今日は、石橋湛山賞受賞者の記念講演でございます。入りのところで受賞作を販売しております。今日は15000円が10000円だそうでございますので、ほかで買わないでぜひ買っていただきたいと。

先生は、一橋大学在学中にイリノイ大学に留学され、それから戻られて一橋大学を出られた後、東京工業大学で博士論文の審査を通られました。その後、現在の情報学研究所で教授をされておられます。本は東洋経済から出ているわけですが、さっき聞きましたら、最近10刷りするというので、20万部を超えて前へ進んでいるところでございます。

東洋経済としてもたいへんありがたいことですが、その本の中にありますように、AIがもてはやされている一方で、あまりよくAIをご存じないとか、あるいはどういう副作用があるかとか、限界とその効用についても正しい議論がなされているとは言えません。わかりやすく読める本でございます、私もからしても、たいへん世の中のためになる本でございますので、ぜひお読みでない方は一読いただきたい。今日はさわりがちゃんと聞けますので、ゆっくりお話を聞いて、またその後にご読んでもいただくといいかもしれませんので、よろしくお願いたします。

それから、ちょっと別のことでございますが、12月14日の講演会の後に忘年パーティーがござ